岐阜県　戦略産業分野を支える地域産業クラスター計画の概要

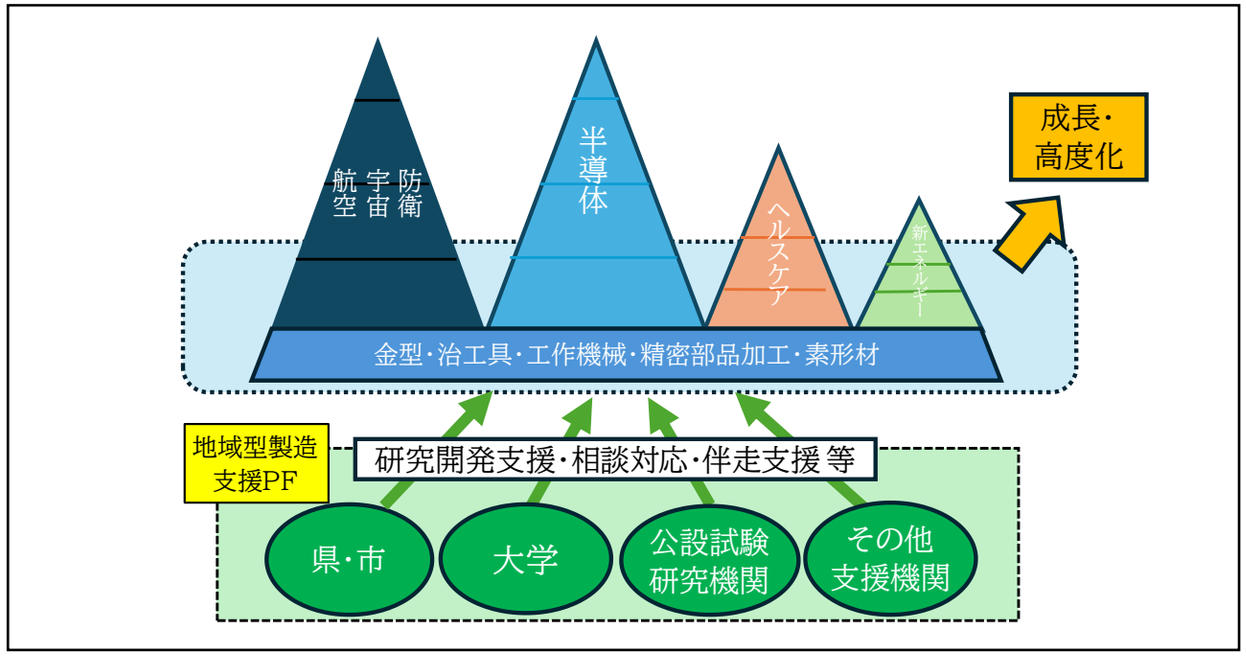
様式１－２

１．産業領域

航空・宇宙・防衛、半導体、ヘルスケア、新エネルギーなどを下支えするサプライチェーン企業及び超精密加工・素形材などの基盤産業領域

２．対象エリア

東海環状自動車道沿線を中心とする地域
・西濃・中濃・東濃エリア
(岐阜市、大垣市、多治見市、関市、中津川市、瑞浪市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、本巣市、海津市、養老町、垂井町、輪之内町、揖斐川町、大野町)



３．目指す姿（目標）

＜目指す姿＞
「ものづくり県」の強みを生かし、各成長・戦略産業ごとに、市場や技術ニーズに応じたサプライチェーン企業、超精密加工・素形材企業などを集積・支援し、各成長・戦略産業と併せて当該産業を支える地域製造業がともに成長することで、県内に強い経済圏を築く。

＜目標(2036年)＞
・官 民 投 資：1兆1,181億円(累計)
　　428億円(2036年)
・付加価値額：10年間で 2,780億円
　　(＋44%)の増
・人 材 育 成：14,330人育成
・企 業 立 地：10年間で132件増

４．勝ち筋

出口企業を支えるサプライチェーン企業及び基盤産業とともに、教育研究・支援機関が集積し、岐阜県の地域製造業全体が持続的に成長する好循環を通じて、付加価値創出力の高い経済圏の形成が期待できることから、以下を勝ち筋とする。

①出口企業ニーズに直結した超精密加工・素形材製造プロセス全体の高度化
②産学官連携による地域型製造支援プラットフォーム(仮称)の構築
③基盤産業の持続的成長を支える人材育成・確保

５．政策手段

次に掲げる本県独自の政策により、県内企業の経営基盤の全体的強化を図る。
加えて、重点企業群に対しては地域型製造支援プラットフォーム（仮称）を中核に、伴走支援等を集中的に実施する。

①地域型製造支援プラットフォーム(仮称)によるトータルマネジメント・プランニング支援
②設備投資支援
③人材育成支援
④技術開発・実証・現場実装及びオープンイノベーション支援
⑤人的支援
　ａ.専門コーディネーターによる支援
　ｂ.企業誘致マンツーマン支援